

静岡ろうきん CSRレポート 2012

※CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)



『明日のために(ろうきん)ができること』

このマークは、当金庫の社会貢献活動を表現しています。円を二つ重ねたデザインは、一つの円は地域、もう一つの円は地域の広がりを表しています。

当金庫では、ろうきんの理念にある「経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会」を実現するために(ろうきん)としてできる社会貢献活動を実践しています。



◆ごあいさつ



皆様には、日ごろより〈ろうきん〉をご愛顧いただきまして厚くお礼申し上げます。
 今年度も、当金庫の社会貢献活動等についてご理解いただくため、「CSRレポート」を作成いたしました。
 多くの皆様にご覧いただき、当金庫のCSRについてご理解を賜れば幸いです。
 2012年度の国内景気は、円高や欧州債務問題の深刻化、そして電力供給の制約等により企業の生産活動への影響が懸念されるなど先行きが不透明であり、勤労者の生活などへの影響も心配される中、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に向け、〈ろうきん〉が果たすべき役割は一層高まっているものと考えます。
 これからも、協同組織の福祉金融機関として、勤労者の生活により密着した事業の展開や地域社会への貢献活動の推進に力を傾注し、一層の役割発揮に努めてまいりますので、何卒、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

2012年7月

理事長 斎藤 昌彦

◆ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
 ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
 ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
 会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
 ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

◆静岡ろうきんが考える CSR

「ろうきんの理念」の実践を通じて、会員をはじめご利用者、地域、社会に貢献することが、当金庫に期待される役割であり社会の一員として果たすべき責任であると考えます。

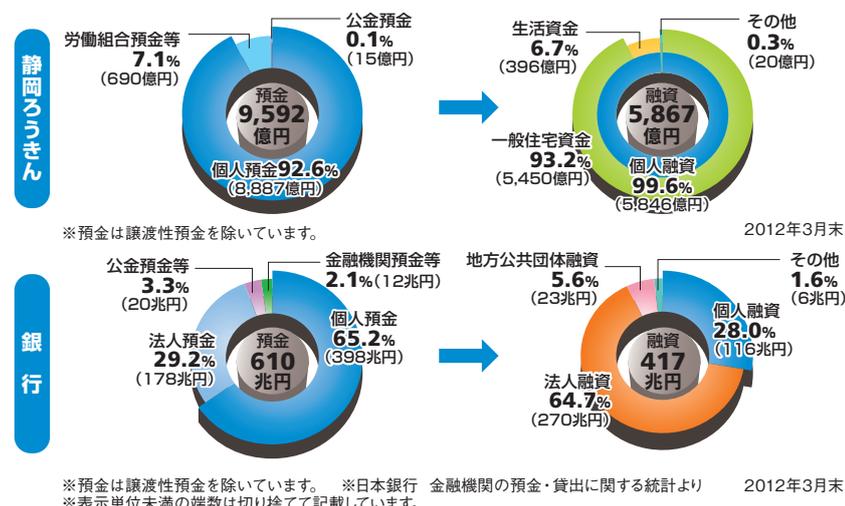
ろうきんは、働く人たちがお互いを助け合うために資金を出し合い設立されました。以来、「働く人たちの相互扶助」を基本に、働く人たちの生活を守り、豊かにするため、時代の変化やニーズの多様化に対応して、さまざまな金融サービスを提供してまいりました。

また、社会・地域への貢献活動をはじめNPO（民間非営利団体）との協働や環境問題への取り組みも、働く人たちの暮らしやすい社会の実現につながるものとして、積極的にかかわっているところです。

当金庫は、ろうきんという助け合いの仕組みを使い、相互扶助の精神のもと、働く人たちが喜びをもって共生できる社会の実現に向け活動していくことこそがCSRそのものであり、これからもその歩みを続けていくことが大切であると考えています。

※ CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任)

◆お金の流れに見る ろうきんと銀行との違い



働く人たちの助け合いの仕組み

ろうきんも預金・融資といった業務の基本は、銀行とほとんど変わりありません。しかし、「お金」の流れを見てみると、ろうきんにお預けいただいた「お金」は、働く人々の住宅取得や車購入等の生活資金などに活用されていることが分かります。

ろうきんにお預けいただいた「お金」は単なる「お金」ではなく、仲間への助け合いの思いが込められているのです。

働く仲間の「お金」は、働く仲間の助け合いのために。協同組織の福祉金融機関の姿がそこにあります。

◆地域・社会への貢献活動

社会貢献活動等

当金庫では、地域社会への貢献活動としてさまざまな取り組みを行っています。

福祉車両・車いすの寄贈

1998年より、毎年県下の福祉施設へ車いす・福祉車両を寄贈しています。2011年度は福祉車両（車いす移送車）3台を寄贈しました。

2012年度は当金庫創立60周年を迎えることを記念した拡大寄贈として、福祉車両（車いす移送車）6台を寄贈する予定です。

これまでの寄贈実績（2012年度の寄贈予定を含む）

車いす	560台
福祉車両	21台
累計寄贈先施設	のべ215施設

～これまでに寄贈した福祉車両はそれぞれの施設で活用されています。～



NPO法人 クリエイト静岡様



NPO法人 はままつ福祉応援団様

「地域役立資金」の活用

「地域役立資金」は、県下の勤労者自主福祉運動の推進、発展に寄与する活動に役立てることを目的として、2010年6月の通常総会にて会員総意のもとに創設された資金です。

2012年4月からは、本部活動拠点である「ALWFロッキーセンター（静岡県勤労者総合会館3階）」の始動やロッキーカレッジ（各種講座）の開校、そして勤労者の子弟の奨学支援を目的とした各種奨学支援制度など、地域役立資金を活用した各事業が本格的にスタートいたしました。

今後も、拠出先である（公財）静岡県勤労者福祉基金協会および（一社）静岡県勤労者福祉協議会の組織内に設置された地域役立資金運営管理委員会にて、資金の有効活用と適切な運用管理を行っていきます。

社会貢献活動等への協賛・協力

- 演劇を通じて「豊かなこころ」を育成することを目的とし、小学生を演劇公演に招待する、劇団四季の「こころの劇場」プロジェクト（静岡公演）に協賛しました。
- 福祉活動への募金を呼びかける、日本テレビ系列のチャリティ番組「24時間テレビ34」へ協賛するとともに、募金の受付（振込みによる募金は振込手数料免除）を行いました。

NPO への支援

当金庫では、社会がかかえている生活・福祉などの課題解決に向けて地域で主体的に活動しているNPOへの支援活動に取り組んでいます。

- 「くろうぎん」の会員から拠出いただいた「NPO助成資金」を活用し、（公財）静岡県勤労者福祉基金協会が主催して、その時々NPOが抱える課題を取り上げ、活動をサポートするための「NPOプレゼント講座」を開催しています。また、同協会は、当金庫の「NPO事業サポートローン」をご利用いただいているNPO法人への利子補給制度を設けており、2011年度は10団体へ利子補給を行いました。
- NPO法人静岡県ボランティア協会への活動支援として、「しずおか福祉バザール」に「くろうぎん」として421点のバザー品を提供しました。また、同協会が主催する「静岡ボランティア研究集会」へ広告協賛を行いました。
- 2011年度は、静岡県がすすめる「新しい公共事業」活動推進事業への支援として、ふじのくにNPO活動基金への寄付を行いました。当金庫の寄付金は、NPO中間支援団体の活動基盤整備事業への助成金として活用される予定です。

※ふじのくにNPO活動基金は、新たな公の担い手としてのNPO活動への支援を目的とし、国が交付する新しい公共支援事業交付金、県民・企業等による寄付金および県の拠出金を原資として、2011年3月に創設された基金です。

地域での活動

当金庫では、各営業店・地域においても、工夫を凝らした独自の活動を行い、地域とのネットワークづくりに努めています。

住宅フェスティバルを後援



焼津支店・藤枝支店「MY（=マイ）キャンペーン～家庭持ち帰り運動～」



掛川支店 さつき祭り



浜松中央支店 1周年記念感謝祭



榛南支店 20周年記念感謝祭



◆コンプライアンス（法令等遵守）態勢の強化

コンプライアンスとは、法令だけではなく、組織内の諸規程、さらには社会規範に至るすべてのルールを遵守することを意味します。公共性の高い金融業務を行う当金庫の役職員には、より高いレベルのコンプライアンスが求められています。

当金庫では、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つと位置づけ「静岡県労働金庫倫理綱領」を制定し、これを自らの行動指針として、役員をはじめ職員一人ひとりがコンプライアンスを十分認識して業務を遂行しています。

◆お客様満足度向上に向けた取り組み

静岡ろうきん中期計画「飛躍」（2012年度～2014年度）では、働くすべての人に安心して利用いただける良質な金融サービスを提供し続けるために、お客様の期待やニーズに的確にお応えする取り組みをすすめています。

●お客様サービスセンターの活動

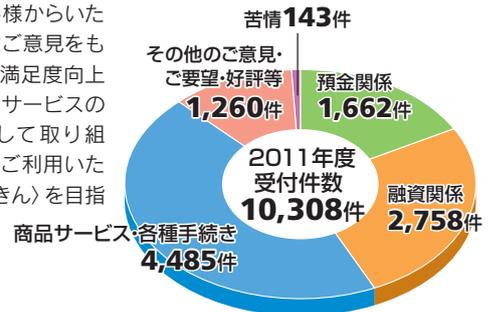
- 「お客様サービスセンター」では、お客様からのお問合せ、ご意見、ご要望をフリーダイヤル等にてお受けしています。いただいたご意見・ご要望を、業務の改善等に反映させています。

2011年度にいただいたご意見等を参考に改善・対応した事例

- 2011年10月より、浜松中央・静岡中央・富士の3ローンセンターにおいて「日曜のんびり相談会」に加えて「土曜のんびり相談会」を毎週開催し、多くのお客様からご融資に関する相談をいただけるよう体制を整えました。
- 毎週水曜日17時～19時に全店で開催されている「水曜よりみち相談会」において、預金関連業務（預金諸手続き・資産運用相談等）の取り扱いを開始しました。

□フリーダイヤル等を通じていただいたご意見など

- 今後も、お客様からいただいた貴重なご意見をもとに、お客様満足度向上に向け商品・サービスの改善に継続して取り組み、安心してご利用いただける（ろうきん）を目指します。



●障がいがあるお客様に配慮した取り組み

視覚に障がいがある方や自筆が困難な方でも安心してご利用いただけるよう、サービスの充実に努めています。

- ・窓口受付の振込手数料を、自動機利用時と同額にしています。
- ・当金庫職員による代筆、代読のお取り扱いをしております。
- ・全店で点字ブロックの敷設確認および工事をを行い、ご来店いただきやすい環境を整えております。
- ・ATMにハンドセット（受話器）による音声案内機能を導入しております。

●安心してご利用いただくために

お客様に（ろうきん）を安心してご利用いただくために、キャッシュカード等の安全管理や振り込み詐欺などに関する「お客様へのご注意!」をホームページ上でも呼びかけています。

URL:<http://shizuoka.rokin.or.jp/attention/>

◆福祉金融機関としての金融商品の開発・提供

当金庫では、福祉金融機関としての社会的責任を自覚し、「会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会」の実現を目指した金融商品の開発・提供をすすめています。

●福祉目的預金「はあとしえあ」

「はあとしえあ」は、ご契約いただいている定期預金の満期利息（税引後）のうち、30%を福祉事業団体に寄付いただけるご預金（注）です。寄付金は「子どもの健全育成」や「環境保全」に取り組む団体に贈られます。

2011年7月には、お客様からの寄付とは別に当金庫からも23万円（お客様からの寄付額と同額）を福祉目的預金各寄付先団体へ寄付いたしました。寄付金は各団体の活動資金として活用いただいています。

寄付先団体

- あしなが育英会
- NPO法人 サンクチュアリエヌピーオー
- NPO法人 天城子どもネットワーク
- 保育支援グループ すわん

多くのみなさまにご協力頂いています。

2012年6月末現在

預金件数 634件
 預金金額 5億48百万円
 ご契約者からの寄付金額累計 1,341,639円



（注）これまで多くのご協力をいただいてきた福祉目的預金ですが、2012年3月31日をもって新規受付を終了いたしました。現在ご契約いただいている福祉目的預金は、2013年12月31日（火）まで、これまでと同様に満期利息の30%を現行の4つの福祉事業団体に寄付するご預金としてご利用いただけます。今後もご利用いただく皆さまが地域社会などへ貢献できる新たな商品・サービスをご案内できるよう検討をすすめてまいります。

●エコ応援割引

住宅ローン（固定金利選択型および変動金利型）をご利用いただく方で、太陽光発電設備を導入した住宅など、環境に配慮した住宅を新築・購入等される方を対象に、金利割引プランをご用意しています。

●NPO事業サポートローン

保健、医療、福祉の増進などに資する活動を行い、地域の福祉向上に大きな役割を果たしているNPO法人への金融支援策として「NPO事業サポートローン」を取り扱っています。

2012年6月末現在

融資件数 5件
 融資残高 39百万円

●育児支援ローン

社会的な問題となっている少子化問題に対し、その一因とも言われる「子育てに関わる経済的な負担」の解消に少しでも役立てていただくため低利で安心なローン制度「育児支援ローン」をご提供しています。

2012年6月末現在

融資件数 378件
 融資残高 2億19百万円

小学校入学前までの
 お子さまをもつ
 勤労者のみなさまを
 応援する
 （ろうきん）ならではの
 ローンです。



◆ 勤労者セーフティネット

勤労者生活支援の取組み

当金庫では、雇用・所得環境が大きく変化する今日、勤労者の生活を守り、支援するためのさまざまな取組みを行っています。

● 「くらし応援活動」の展開

ライフプランに関するセミナーの開催などにより貯蓄の必要性についての情報提供を積極的に行っています。2012年度は、「家計見直し運動」および「資産形成運動」の展開により、家計の収支バランスの健全化に向けて提案活動をすすめています。

● 生活支援融資制度等の拡充

勤労者の雇用・所得環境の悪化にともない、収入が減少した方や離職された方を対象とした生活支援融資制度の拡充に努めています。

● 勤労者生活支援特別融資制度「ささえ」

勤務先の事情や自然災害等により、収入が減少した方や離職された方への生活支援を目的として、ご利用中の〈ろうきん〉ローンの返済条件を見直しできる制度を取り扱っています。

● 〈特別〉勤労者生活支援融資制度「特別ささえ」

勤務先の事情で収入が減少した方の支援を目的とした低金利の融資制度を取り扱っています。

※取扱期間：2013年3月29日融資実行分まで

2012年6月末現在	融資件数	346件
	融資残高	3億41百万円

● ライフサポートセンターしずおかとの連携

ライフサポートセンターしずおかでは、「暮らし何でも相談」や「生きがい作り」など、幅広い生活支援の取組みを行っています。当金庫は、勤労者の生活支援のため、同センターへ様々な支援を行い、連携した活動を展開しています。2011年度は悪質商法から身を守るための知識・情報を提供するセミナーを県下4カ所で開催しました。



多重債務問題への取組み

多重債務問題に関する啓発・相談活動を通じ、問題解決に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

● 「～第2次気づきキャンペーン～」の展開

2011年4月～2012年3月に「～第2次気づきキャンペーン～」を展開し、多重債務の問題は解決できることを広く周知しました。

2012年度も引き続き消費生活相談を積極的に展開し、多重債務の予防、救済の両面からの活動をすすめています。

● 多重債務相談体制の強化

「多重債務問題対策会議」を庫内に設置するとともに多重債務相談の専任者を県下各地に配置し、実際に悩まれている方への相談活動を展開しています。

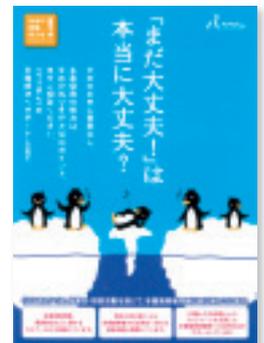
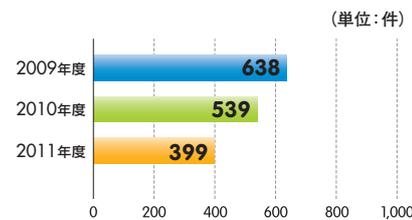
● ネットワークの構築

多重債務問題等に関して法的対応を必要とした場合の弁護士や司法書士とのネットワークを築いています。また、静岡県の「静岡県多重債務者対策会議」に委員として参画し、多重債務問題の解決に向けた情報の提供・収集を行っています。

● 多重債務問題、消費者生活支援等のセミナー開催

〈ろうきん〉の職員と専門家のネットワークで構成するロッキースタッフにより、多重債務問題・悪質商法などに関するセミナー等を開催しています。また、多重債務問題・悪質商法などの消費者トラブルを未然に防止するために、大学生や高校生、中学生等、これから社会人となる方々を対象とするセミナーも開催し、金融に関する学習・啓蒙活動を実施しています。2011年度は合計で120回開催しました。

■ 過去3年間の多重債務相談件数



災害等への対策

当金庫では、皆様の大切な財産をお預りしている金融機関として地震災害等にもなる被害に備えた取組みを行っています。

● 災害救急融資「きずな」

東海地震発生時に、復興のための資金を緊急融資する制度「きずな」を創設し、災害が万一発生した場合に備えています。

● 特別災害救済資金ローン

自然災害等による被害への必要な資金のニーズに迅速に対応すべく、平時より特別災害救済資金ローンをご用意しています。2011年度は、「東日本大震災・静岡県東部地震」、「台風15号暴風雨」の被害に遭われた方に対する特別災害救済資金ローンを取り扱いました。

※東日本大震災の被害に遭われた方に対する無担保・特別災害救済資金ローンは2013年3月31日まで受付いたします。



● 地震災害対策資金

地震災害対策資金は、地震災害の発生に備え〈ろうきん〉の会員からの拠出により積み上げた資金です(1998年総会にて創設)。本資金は勤労者の罹災時の生活確保のための緊急支援を行うことを目的として(公財)静岡県労働者福祉基金協会にて管理しています。

2011年度の主な資金活用

- 県内外の災害ボランティアによる救済活動のための図上訓練の実施
- 東海地震等に備えた災害ボランティアネットワークへの助成



◆環境への取り組み

地球規模で深刻化し世界的な問題となっている環境問題に対して、当金庫では、環境に関する基本方針「環境宣言」を制定し、環境負荷を低減する活動や職員への環境教育などをすすめています。

●KES・環境マネジメントシステム・スタンダード認証の取得

2008年2月より、KES・環境マネジメントシステム・スタンダード「ステップ2(=ISO14001と同レベルの要求項目)」の認証を全26の事業所で取得しています。

今後も、引き続き省エネルギー・省資源化の促進に取り組みます。



●「環境保護にも役立宣言」制度

無担保ローン『役立宣言』4商品および住宅ローンご契約件数1件につき50円、KES取組みによるエネルギー・資源削減成果の一部を、環境保護団体「静岡県地球温暖化防止活動推進センター※」へ寄付する制度を設けています。2011年度は、ふじのくにエコチャレンジの活動費用や、子どもたちがリーダーとなって家庭で地球温暖化防止に取り組む環境教育事業である「アース・キッズ」プログラムの活動費用に活用されました。

※「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」は静岡県における地球温暖化防止のための取組みの活動促進、普及啓発活動や調査・研究などを行っています。

環 境 宣 言

基本理念

静岡県労働金庫は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

方 針

静岡県労働金庫は、金融業務に係わる全ての活動及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当金庫の活動及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当金庫の活動及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を遵守します。
3. 当金庫の活動及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 電力使用量の削減
 - (2) ガス使用量の削減
 - (3) 事務用紙使用量の削減
 - (4) 環境や省エネ・省資源についての啓蒙活動
 - (5) 省エネ・エコ活動や美化活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全職員に周知するとともに一般の方が入手できるようにします。
5. 地域の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2007年6月 1日

改定日 2012年4月 1日

静岡県労働金庫

理事長 加藤 幸博

◆東日本大震災復興支援に係る取り組み

当金庫では、被災地域の日も早い復興を祈念するとともに、被災された方への支援に引き続き取り組んでまいります。

●「震災遺児支援募金・口座振替サービス」

支援を希望するお客様の普通預金から直接、一定期間・一定額を自動振替で「あしなが育英会 東日本大地震・津波遺児募金」へ寄付するサービスです。

また2012年度は、震災遺児支援募金・口座振替サービス契約実績によるマッチングギフトとして、前年度末の震災遺児支援募金・口座振替サービス契約件数1件につき500円を当金庫が拠出し、本サービスの寄付先である「あしなが育英会 東日本大地震・津波遺児募金」への寄付を実施いたします。



●振込手数料の免除措置

〈ろうきん〉の窓口から義援金振込口座への送金にかかる振込手数料について、免除措置をとっております。

●「^{プラス}くらし応援定期+復興支援」

勤労者のくらし応援とあわせて、東日本大震災の復興を支援する定期預金として、2011年6月1日～8月31日、2011年11月1日～2012年1月31日の期間中に取り扱ったご預金です。2011年8月末時点および2012年1月末時点それぞれの預入残高0.05%相当額の5,521,151円を、当金庫より「あしなが育英会 東日本大地震・津波遺児募金」へ寄付いたしました。

◆国際協同組合年

2012年は、国連が定めた国際協同組合年です。当金庫も「地域に貢献できる協同組合らしい活動の実践、普及広報活動の実施、文化活動の実施」等を方針として掲げる国際協同組合年静岡県実行委員会へ加入し、県内の協同組合関係団体と連携をとりながら、協同組合の理念・運動を地域社会に広く認知いただく活動を展開しています。



くらし応援団



ビボバdeろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123
インターネットホームページ
<http://shizuoka.rokin.or.jp>

静岡県ろうきん CSR レポート 2012
2012年7月
発行：静岡県労働金庫
〒420-0851
静岡市葵区黒金町5番地の1
TEL(054) 221 - 6100



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。